

2022年度【収支計算書】

事業活動収支計算書

(2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

単位：円

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	1,364,636,000	1,364,132,819	503,181
		手数料	12,597,000	13,910,400	△ 1,313,400
		寄付金	108,031,000	108,427,850	△ 396,850
		経常費等補助金	68,727,000	68,860,179	△ 133,179
		付随事業収入	190,390,000	188,582,730	1,807,270
		雑収入	415,983,000	428,236,126	△ 12,253,126
		教育活動収入計	2,160,364,000	2,172,150,104	△ 11,786,104
教育活動支出の部	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,120,880,000	1,122,130,109	△ 1,250,109
		教育研究経費	872,544,000	866,617,345	5,926,655
		管理経費	520,254,000	492,784,646	27,469,354
		徴収不能額等	400,000	895,266	△ 495,266
		教育活動支出計	2,514,078,000	2,482,427,366	31,650,634
教育活動収支差額			△ 353,714,000	△ 310,277,262	△ 43,436,738
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	3,300,000	3,750,000	△ 450,000
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	3,300,000	3,750,000	△ 450,000
教育活動外支出の部	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出	0	0	0
教育活動外収支差額			3,300,000	3,750,000	△ 450,000
経常収支差額			△ 350,414,000	△ 306,527,262	△ 43,886,738
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	31,176,000	31,490,774	△ 314,774
		特別収入計	31,176,000	31,490,774	△ 314,774
特別支出の部	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	0	137	△ 137
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	137	△ 137
特別収支差額			31,176,000	31,490,637	△ 314,637
基本金組入前当年度収支差額			△ 319,238,000	△ 275,036,625	△ 44,201,375
基本金組入額			0	△ 64,480,586	64,480,586
当年度収支差額			△ 319,238,000	△ 339,517,211	20,279,211
前年度繰越収支差額			△ 5,478,650,433	△ 5,478,650,433	0
基本金組戻額			0	34,398,247	△ 34,398,247
翌年度繰越収支差額			△ 5,797,888,433	△ 5,783,769,397	△ 14,119,036

資金収支計算書

(2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

単位：円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,364,636,000	1,364,132,819	503,181
手数料収入	12,597,000	13,910,400	△ 1,313,400
寄付金収入	124,031,000	124,427,850	△ 396,850
補助金収入	68,727,000	68,860,179	△ 133,179
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	190,390,000	188,582,730	1,807,270
受取利息・配当金収入	3,300,000	3,750,000	△ 450,000
雑収入	415,983,000	428,236,126	△ 12,253,126
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	706,699,000	600,376,348	106,322,652
その他の収入	577,863,000	560,709,965	17,153,035
資金収入調整勘定	△ 959,699,000	△ 941,279,803	△ 18,419,197
前年度繰越支払資金	965,127,324	965,127,324	0
収入の部合計	3,469,654,324	3,376,833,938	92,820,386
支出の部			
人件費支出	1,120,880,000	1,122,130,109	△ 1,250,109
教育研究経費支出	552,525,000	542,956,291	9,568,709
管理経費支出	487,789,000	459,201,621	28,587,379
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	57,519,000	57,477,387	41,613
設備関係支出	115,831,000	99,603,876	16,227,124
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	536,862,000	522,147,287	14,714,713
資金支出調整勘定	△ 154,668,000	△ 168,622,571	13,954,571
翌年度繰越支払資金	752,916,324	741,939,938	10,976,386
支出の部合計	3,469,654,324	3,376,833,938	92,820,386

貸借対照表

2023年 3月31日現在

単位：円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
固定資産	5,732,029,176	固定負債	21,187,984
(有形固定資産)	5,527,427,947	流動負債	816,580,384
(特定資産)	0	負債の部合計	837,768,368
(その他の固定資産)	204,601,229	純資産の部	
流動資産	1,039,401,736	基本金	11,717,431,941
		繰越収支差額	△ 5,783,769,397
		純資産の部合計	5,933,662,544
資産の部合計	6,771,430,912	負債及び純資産の部合計	6,771,430,912

財 産 目 録

学校法人ホンダ学園

令和5年3月31日現在

科 目	金 額
一 資 産 額	
（一）基本財産	5,679,242,120 円
1. 土地	
校地	2,919,536,636 円
2. 建物	
校舎	2,140,939,761 円
3. 構築物	51,057,993 円
4. 教具・工具・備品	394,408,048 円
5. 図書	16,722,594 円
6. その他	156,577,088 円
（二）運用財産	1,092,188,792 円
1. 預金、現金	741,939,938 円
2. その他	350,248,854 円
合 計	6,771,430,912 円
二 負 債 額	
1. 固定負債	21,187,984 円
(1) 長期未払金	21,187,984 円
2. 流動負債	816,580,384 円
(1) 未払金	172,440,566 円
(2) 前受金	600,376,348 円
(3) その他	43,763,470 円
合 計	837,768,368 円
差引正味財産	5,933,662,544 円

監事監査報告書

令和5年5月25日

学校法人ホンダ学園

理事長 高倉 記行 殿

評議員会議長 殿

学校法人ホンダ学園

監事

鈴木雅文 

監事

梅澤一徳 

私たちは、私立学校法第37条第3項、及び学校法人ホンダ学園寄附行為第18条1項4号の規定に基づき、学校法人ホンダ学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務並びに財産の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人ホンダ学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）、並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

以上

学校法人ホンダ学園 2022年度 事業実績報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

I. 法人の概要

1. 教育方針

当学園は、創設者 本田宗一郎の次の理念に基づいて、教育を行っています。

<建学の志>

ホンダ学園は世界に歓迎される人間の育成を使命とする

<学園の目的>

チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者を育成する

<育成方針>

世界に歓迎される為の・・・

- ・マナーとマインドを磨く
- ・実践第一の技術力を学び取る
- ・社会貢献の心と行動力を育む

2. 設置する学校と学科

(1) 設置する学校

ホンダ テクニカル カレッジ 関東

ホンダ テクニカル カレッジ 関西

(2) 設置する学科と修業年限・定員 (2023年3月31日現在)

<ホンダ テクニカル カレッジ 関東>

学科名	修業年限	2022年度 入学定員	2年次	3年次	4年次	総定員
自動車整備科	2年	----	120名	----	----	120名
サービスエンジニア学科	2年	100名	----	----	----	100名
一級自動車研究開発学科	4年	----	160名	160名	160名	480名
一級自動車整備学科	4年	75名	----	----	----	75名
研究開発学科	4年	85名	----	----	----	85名

<ホンダ テクニカル カレッジ 関西>

学科名	修業年限	2022年度 入学定員	2年次	3年次	4年次	総定員
自動車整備科	2年	100名	100名	----	----	200名
一級自動車研究開発学科	4年	100名	100名	100名	50名	350名
自動車整備留学生科	3年	50名	75名	50名	----	175名

3. 役員、教職員の概要 (2022年3月31日現在)

- (1) 役員 理事：10名 監事：2名 評議員：24名
 (2) 教職員（嘱託、社会人講師含む）

	教 員	職 員	合 計
ホンダ テクニカル カレッジ 関東	47名	11名	58名
ホンダ テクニカル カレッジ 関西	34名	8名	42名
法人本部	—	6名	6名
合 計	84名	25名	106名

II. 事業の概要

1. 2022年度の方針

2022年度は、中長期ビジョンおよび中期方針を定め、事業を推進しました。

<中長期ビジョン>

「移動」と「暮らし」の進化がもたらす豊かな社会の実現に向け
 Hondaの自動車大学校ならではの教育で
 人に喜ばれ、社会に貢献する人材を輩出する

<中期方針>

Hondaのフィロソフィーと企業活動(商品・技術・サービス)を
 ベースとした実践的な技術者教育で、
 時代にマッチした環境/安全の技術進化に追随し、
 グローバルで活躍できる整備士・技術者人材を育成する

この中期方針に基づき、中期重点課題として以下の6項目に取り組みました。

1. 時代にあった教育カリキュラムの確立（資格取得率100%）
2. 企業の期待に応える人材の輩出（就職率100%）
3. 意欲に溢れた学生の確保（入学者数 関東240名 / 関西200名）
4. 学園の価値を創出する教職員の育成（従業員活性度（頑張れば報われる環境）3.35pt）
5. 職場環境改革（ICT/インフラ/働き方）（従業員活性度（働きやすい環境がある）3.50pt）
6. 永続的かつ安定的な学校経営基盤の構築（企画進度）

2. 2022年度の事業

(1) 学生の状況 (2023年3月31日現在)

単位：名

	自動車整備科		サービスエンジニア学科 (E)		一級自動車研究開発学科				一級自動車整備学科 (E)				研究開発学科 (E)				自動車留学生科 (W)			合計
	1年	2年	1年	2年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	
関東校	-	92	71	-	-	122	125	123	65	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-	656
関西校	73	94	-	-	72	57	50	26	-	-	-	-	-	-	-	-	38	72	48	530
合計	73	186	71	0	72	179	175	149	65	0	0	0	58	0	0	0	38	72	48	1,186

(2) 資格取得の状況

<一級自動車整備士（筆記試験のみの結果・口述試験は 5/14 実施 結果は 5/下旬）>

	受験者	合格者	合格率
関東校	53名	48名	90.6%
関西校	19名	18名	94.7%
合計	72名	66名	91.7%

<二級自動車整備士>

		受験者	合格者	合格率
関東校	ガソリン	290名	209名	100.0%
	ジーゼル	209名	209名	100.0%
関西校	ガソリン	196名	194名	99.0%
	ジーゼル	196名	194名	99.0%
合計		810名	806名	99.5%

<三級自動車整備士（関西校自動車整備留学生科）>

	受験者	合格者	合格率
関東校	-	-	-
関西校	39名	39名	100.0%
合計	39名	39名	100.0%

(3) 就職の状況 <求人数と内定数>

単位：名

	ホンダグループ				ホンダグループ以外		合計
	四輪販社	二輪販社	本田技研	ホンダ関連	自動車関連	その他	
求人数	977	94	16	143	979	174	2,383
内定者	230	10	15	35	53	9	352
(内定比率)	65.3%	2.8%	4.3%	9.9%	15.1%	2.6%	100.0%

(4) 学生募集の状況

単位：名

	1年生定員 (2023年度)	応募		入学者	
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
関東校	260	234	162	210	144
関西校	250	203	154	190	140
合計	510	437	316	400	284

(5) その他の事業実績

- 国家資格合格率は、上記の表のとおりとなりました。
両校合わせての合格率は昨年度から上昇しており、個別試験対策強化や資格取得意欲醸成などの施策効果が結果として徐々に表れてきていますが、引き続き合格率 100%に向けた取り組みを進めて参ります。
- 就職率は、今期も 100%を達成しました。
第一志望企業への内定率は目標の 75.0%に対して、82.4%となりました。引き続き、就活セミナーの改善や学生の希望に沿った求人の新規開拓に取り組み、就職指導の充実を図って参ります。
- 退学率は、目標 3.0%に対して、5.7%となりました。
主な退学理由は「進路変更」「成績不振」「意欲喪失」となっておりますが、学生個々の事情を踏まえ、学生に可能な限り寄り添ったサポートを実施し、退学抑制への取り組みを継続して参ります。
- 学生募集による 23 年度の入学者数は、対前年で▲116 名の減少であり、関東校で 144 名、関西校で 140 名、合計 284 名となりました。これは、近年最も少ない入学者数です。
22 年度に開催したオープンキャンパスへの動員数は、前年比 101%とほぼ同水準であったものの、入試応募者については対前年▲121 名の減少であり、316 名となりました。
18 歳人口の減少、新型コロナウイルス感染拡大影響による留学生の大幅減少など、厳しさが増す環境のなか、各校にて学生募集戦略を立案し推進して参りましたが、施策着手遅れなどにより目標に対して実績が大幅な未達となったことを踏まえ、学生募集戦略を抜本的に見直し、既に 23 年度の募集活動に着手しております。
22 年度に制定した「企業奨学金制度」を活用し、HM 労政部、販社様との連携を強化しつつ、23 年度の目標必達に向けて取り組んで参ります。
- 教職員の育成に関して、管理指標である従業員活性度(頑張れば報われる環境)3.35pt の目標に対して、3.46pt の実績となりました。教職員の育成機会を拡大させると共に、教職員自らが自身のキャリアを描けるようにキャリアデザインモデル策定プロジェクトを立上げ、推進しております。
- 職場環境改革に関して、管理指標である従業員活性度(働きやすい環境がある)3.50pt の目標に対して、3.46pt の実績となりました。
学内システム刷新に着手したものの、既存システムが立上げから 30 年近く経過しており、その間の改修による仕様書に不明確な箇所が多く、ゼロベースで検討することが必要となったため、展開スケジュールを見直し推進しました。
学校建屋・設備の新規導入および更新については、期初計画に対して 94.3%の実行率となりました。
- 学校経営基盤の構築に関して、学園の認知向上を目指しブランディング・プロジェクトを立上げ、推進しました。
- 学校経営体質の強化に向け、収支差異目標±15%以内に対して、-15.4%の実績となりました。
引き続き、体質強化に向けた取り組みを推進して参ります。

Ⅲ. その他

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、2022 年度も 2021 年度に引き続き以下の感染予防対応を行いました。

- サーマルカメラ導入による非接触での体温測定を更に充実させ、顔認証検温データにより全学生・教職員の健康状態を管理
- 登校を基本とするものの、オンラインでの授業が可能な場合は、Web 対応にて学内感染拡大を防止
- 寮生の罹患発生時の対応として、寮隔離部屋を設け、陽性者、濃厚接触者を個室隔離
- オミクロン株の特性を踏まえた、罹患後の復学基準の見直し
- 入学式、卒業式共に、出席者を入学生・卒業生と学校教職員のみ絞って実施